

問1 日本とアメリカ合衆国の国土面積と排他的経済水域 (EEZ) の面積を比較した統計があります。これによると、日本は国土面積そのものはアメリカ合衆国よりはるかに小さいものの、国土面積に対する排他的経済水域の面積の割合は、アメリカ合衆国よりも極めて高いという数値を示しています。この日本の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 京都公立入試 類似)

1. 日本は四方を海に囲まれた島国であり、多くの離島を持つため、国土面積の十数倍にあたる広大な排他的経済水域を有している。
2. 日本は広大な大陸と接しているため、領海と排他的経済水域の範囲がほぼ一致しており、国土面積に対する割合も低い。
3. 日本の排他的経済水域の面積は国土面積とほぼ同等であり、アメリカ合衆国のような大規模な開発は行われていない。
4. アメリカ合衆国は日本よりも離島の数が多いため、国土面積に対する排他的経済水域の割合は日本よりも高くなっている。

問2 地形図を用いた地域調査において、「旧取手宿本陣表門」のように、江戸時代に街道の拠点として発展した町の面影を残す建物は重要な手がかりとなります。このような、人馬の継ぎ立てや宿泊を担うために街道沿いに形成された町の形態を何と呼びますか。 (2024年 東京都公立入試 類似)

1. 宿場町
2. 門前町
3. 城下町
4. 鳥居前町

問3 沿岸から二百海里までの範囲で設定され、その海域における水産資源や鉱物資源の探査、開発、管理について沿岸国に独占的な権利が認められている海域を何というか。 (2023年 福井公立入試 類似)

1. 排他的経済水域
2. 領海
3. 接続水域
4. 公海

問4 日本において、特定の都市を「政令指定都市」に指定し、一般の市よりも大きな権限を与える主な目的はどのような点にありますか。 (2023年 三重公立入試 類似)

1. 人口が集中する大規模な都市において、住民により近い市に権限を移すことで、地域の実情に応じた迅速な行政サービスを提供するため。
2. 地方交付税を増額する代わりに、すべての行政事務を国が直接管理するようにし、全国で均一なサービスを維持するため。
3. 隣接する市町村との合併を促進して人口を増やすことで、国会議員の定数を増やし、国政における地域の影響力を強めるため。
4. 過疎化が進む周辺自治体との格差を是正するため、都道府県の権限をあえて縮小させ、地方全体の人口流出を抑制するため。

問5 富山県舟橋村付近の、昭和62年と平成23年の地形図における土地利用の変化について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)

1. 昭和62年当時は田が広がっていた場所の多くが、住宅地へと変化し、郵便局や図書館、老人ホームといった公共施設が新たに整備されている。
2. 昭和62年当時は針葉樹林であった場所が、大規模な開発によって工業団地へと変化し、高等学校などの教育施設はすべて村外へ移転した。
3. 昭和62年当時は果樹園であった場所が、自然保護の観点からすべて荒地へと変化し、村役場の周囲からは主要な公共施設が消失している。
4. 昭和62年当時は広大な住宅地であった場所が、少子高齢化の影響で田へと戻され、村役場から見て北北東にあった高等学校は老人ホームに建て替えられた。

問6 日本の七地方区分において、国の政治・経済の中心である東京都や、横浜市を持つ神奈川県が含まれる地方名称はどれか。

(2016年 北海道公立入試 類似)

1. 関東地方
2. 近畿地方
3. 中部地方
4. 東北地方

問7 日本の都道府県には、県名と県庁所在地名が異なるものが存在します。四国地方を南北に貫く東経134度の経線が通過する県のうち、県名と県庁所在地名が異なっている都市の名称として正しいものを選びなさい。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 高松市
2. 徳島市
3. 高知市
4. 松山市

問8 2万5千分の1の地形図で紀伊田辺駅周辺を調査したところ、駅の近くに「市役所」「裁判所」「消防署」の地図記号が確認できました。これらの地図記号の由来や形状の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)

1. 市役所は「◎」、裁判所は「天秤で使う分銅」、消防署は「消防つるはし」の形を図案化した記号で表される。
2. 市役所は「○の中に・」、裁判所は「法槌 (ハンマー)」、消防署は「×」の形を図案化した記号で表される。
3. 市役所は「◎」、裁判所は「建物の形」、消防署は「火の輪」の形を図案化した記号で表される。
4. 市役所は「二重の円」、裁判所は「鳥居」、消防署は「盾」の形を図案化した記号で表される。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本は四方を海に囲まれた島国であり、多くの離島を持つため、国土面積の十数倍にあたる広大な排他的経済水域を有している。	日本は国土面積が約38万平方キロメートルと限られていますが、四方を海に囲まれた島国であり、小笠原諸島や沖ノ鳥島といった離島が広範囲に点在しています。そのため、沿岸から200海里（約370km）に設定される排他的経済水域の面積は約447万平方キロメートルに達し、国土面積の約12倍という非常に高い割合を誇ります。これに対し、アメリカ合衆国は国土そのものが巨大であるため、水域の面積自体は広くても、国土面積との比率では日本の方が圧倒的に高くなります。
問2	答え 1 宿場町	江戸時代、幕府は主要な街道に一定の間隔で「宿場町」を設置しました。ここには公用の荷物を運ぶための人足や馬を交代させる「問屋場」や、大名が泊まる「本陣」、一般の旅人が泊まる「旅籠」などが集まっていました。取手宿は水戸街道の宿場の一つであり、現在も本陣の遺構が残ることで、かつての街道のルートや方位、距離を特定する際の重要な目印となっています。
問3	答え 1 排他的経済水域	国連海洋法条約に基づき、沿岸から200海里（約370km）の範囲に設定される海域です。領海（沿岸から12海里）とは異なり、他国の船舶の航行や航空機の上空飛行は自由ですが、魚介類や海底の石油・天然ガスなどの資源については沿岸国が優先的に管理・利用する権利を持ちます。
問4	答え 1 人口が集中する大規模な都市において、住民により近い市に権限を移すことで、地域の実情に応じた迅速な行政サービスを提供するため。	大規模な都市では、都道府県が広域的に管理するよりも、その都市自体が判断したほうが住民のニーズに即したきめ細やかな対応ができる場合があります。二重行政の無駄を省き、道路の整備や福祉サービスの提供などを市の判断で一貫して行えるようにすることで、都市経営の効率を高めることがこの制度の狙いです。
問5	答え 1 昭和62年当時は田が広がっていた場所の多くが、住宅地へと変化し、郵便局や図書館、老人ホームといった公共施設が新たに整備されている。	都市近郊の農村部では、昭和後半から平成にかけて、それまで田として利用されていた土地が住宅地へと転用される「宅地化」が進む傾向にあります。それに伴い、居住者の増加に対応するために郵便局や図書館などの利便施設、さらには高齢化社会を反映した老人ホームといった地図記号が地形図上に新たに見られるようになるのが一般的な変化のパターンです。
問6	答え 1 関東地方	日本最大の平野である関東平野が広がり、首都機能が集中しているため人口密度が非常に高い地域である。
問7	答え 1 高松市	東経134度の経線は、四国地方では香川県、徳島県、高知県の3県を通過しています。このうち、徳島県（徳島市）と高知県（高知市）は県名と県庁所在地名が一致していますが、香川県の県庁所在地は高松市であり、名称が異なります。選択肢にある松山市は愛媛県の県庁所在地ですが、愛媛県内を東経134度の経線は通過していません。
問8	答え 1 市役所は「◎」、裁判所は「天秤で使う分銅」、消防署は「消防つるはし」の形を図案化した記号で表される。	市役所は「◎」で表されますが、町村役場は「○」で表されるため区別が必要です。裁判所の記号は、公正な判断を象徴する天秤に用いる「分銅（ふんどう）」の形を、消防署の記号は、かつての火消しが用いた道具である「消防つるはし」の形をそれぞれモチーフにしています。こうした地図記号の知識を持つことで、地形図から公共施設の分布状況を正確に把握することができます。